

出張プレーパークがやってきた！「自分でえらんで、あそんでみよう！」

中野区

プロジェクト実施者 一般社団法人 探求あそび場づくりの輪

実施日時

令和6年 9月14日(土) 10:00～16:00
令和6年 9月23日(月・祝) 10:00～16:00
令和6年 12月8日(日) 10:00～16:00
令和6年 12月14日(土) 10:00～16:00

実施場所

旧中野区立鷺宮小学校校庭、中野区立江古田小学校校庭
中野区立塔山小学校校庭、中野区立城山公園

プロジェクト概要

赤ちゃんから大人までみんなで遊べる出張プレーパークを中野区4か所で開催します！ 9月はおもいきり水遊び、12月はダンボールで迷路やまちをつったり焚き火を楽しみます。プレーリーダー達が子どもたちの「良いこと思いついた！」を広げ、多様な遊びをサポートします。

イベント詳細

ダンボールを使った遊び、ブルーシートや雨どいを使った水遊び、大きなシャボン玉、端材や端切れなどでの工作、コマなどの昔遊びなど、子どもが自分自身で選んで遊べるような遊び場を開催します。他にも、スラックライン、モンキーブリッジ、ブランコ、ハンモックなどのロープ遊びや焚き火コーナーも用意します。ダンボールひとつとっても、箱を作る、重ねる、つなげる、入る、隠れる、穴を開ける、壊す、潰すなど、できることは無限大。「子どもたちの自由な発想」で、わくわくや、やってみたい気持ちを大切に、自由に創造しながら遊べます。

プロジェクトへの想い

「どんな形にもなる素材」を子どもたちの創造と展開に合わせて配置しておくことで、「子どもたちの自由な発想」を引き出し、遊びの展開へとつなげていきます。開放的な外空間では、ふらりときてぼ～っと過ごすのもあり。失敗しても何度でもやり直せる。大人の知っている価値観で「それはダメ」「こうした方がいい」とは言わず、秩序・常識を一旦置いて「子どもがやりたいことは何か」「見ているものは何か」等、子どものありのままを見守ります。プレーリーダーは子どもたちの「いいことみつけた！ おもいついた！」を大切に、同時に保護者や、ボランティアの方にも「子どもは遊びで育つ」ことを理解していただくように声かけを行います。



出張プレーパークがやってきた！「自分でえらんで、あそんでみよう！」

子供の感想

- ・小学3年生：水あそびでびしょぬれになっても楽しかった。
- ・小学4年生：こんどもこのようなイベントがあったらまた行きたい。
- ・小学4年生：ベーゴマで友達をたおしたのがそうかいかんがあった。
- ・小学4年生：わたしはあまりこのようなイベントに参加したことがなかったけど、友達にさそわれて来たらとても楽しかった。
- ・小学5年生：工作が自由にできて楽しかったです。
- ・小学5年生：スタッフの人がやさしくて、自由にできた。
- ・小学4年生：やったことあることもないことも、たくさんできてとても楽しかったです。
- ・小学6年生：あそびのバリエーションが多くてたのしかった。

保護者の感想

- ・子どもたちが自由に思いっきり遊びに夢中になれる場で、隣で親たちも一緒に楽しむことができ、とてもありがたいです。広々とした空間を使っていることも、順番待ちや取り合いのストレスがなく、とてもよかったです。
- ・とても良かったです。学校の校庭はとても広く自由に行き来できたので良かったです！！毎月やってほしいです！暑い中企画運営ご苦労様でした。子育て落ち着いたら、お手伝いできる機会があれば良いかなと思います。
- ・このような子供や親が安心して様々な遊びに挑戦できる場所は絶対に必要だと思います。子供たちは、今日も時間を忘れてずっと遊んでいました。今後も是非続けていただきたいです。ありがとうございました。
- ・ベーゴマ遊びが楽しかったようです！地域の方が教えてくださり世界が広がりました。
- ・中野の南、東エリアには広い公園がありませんので、こういう機会はとてもありがたかったです。ぜひまたやってほしいです。
- ・子どもたちがとてもびびと遊べる場を設けていただき、本当にありがとうございます！プレーリーダーの方々の明るい声かけもうれしかったです。おかげさまで子どもたちもより楽しめておりました。また参加したいです。
- ・たまたまとおりがかって行ってみたらとても楽しんでいました。プレイパークがどんなものか知れてよかったです。また参加したいです。
- ・自分が子供の頃は当たり前にあってやっていた遊びをこうしていま子供が遊ぶことができるのは、ありがたいことです。

主催者の感想

はじめてのビッグプロジェクトでバタバタでしたが、実現できて本当に良かったと思っています。4回で1,300人を超える方々にご参加いただき、どの回にも子どもたちの「わくわく」が溢れていました。

カラーポリ袋を凧にして走りまわる子、ドロドロの校庭でトカゲのように這う子、川やダムを作った子、段ボールで家や迷路をつくった子、落ち葉をバケツにつめてシャワーのように降らせた子、焚火でビー玉を焼いてみた子…。「これ、やりたい！」に夢中になった後の子どもたちは「清々しい顔」をしています。お父さんお母さんたちの「ほっとしている顔」も印象的です。子どもたちをこんなに自由に遊ばせることって、なかなかできないことです。よね。地域の町会の方やPTAの方や小学校や、ベーゴマクラブの方や、ジャンベ愛好会の方にもご協力いただきました。感謝です。

今回はプレーパークにあまり馴染みのない地域で開催する取り組みで準備は大変でしたが、当日は私たちスタッフも楽しみながら運営することができました。探求あそび場づくりの輪は、中野区内でプレーパークを行っている5つの団体が集まり結成したもので、中野区内5箇所では継続して開催予定です。ぜひ遊びに来てください。

